

# 避難所における新型コロナウイルス 感染症対策のポイント

令和3年3月

島根県防災部  
防災危機管理課

## 目 次

1. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた住民への周知	1
2. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設準備	1
(1) 濃厚接触者への対応	1
(2) 健康な者の避難所滞在スペースレイアウトの検討	1
(3) 発熱者等の専用スペースの設置、レイアウトの検討	1
(4) 避難所のレイアウト変更に伴う収容人数変更への対応	2
(5) 避難受付のレイアウト・感染予防対策の検討	2
(6) 運営スタッフの感染予防対策の検討	2
3. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の運営方法の検討	3
(1) 人権侵害の防止	3
(2) 基本的な感染症対策の徹底	3
(3) 避難者の健康管理、保健指導	3
(4) 生活ルールの徹底	4
(5) 食料、物資の配布方法の検討	4
4. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた防災物資の備蓄	5
(1) 感染症対策で必要となる防災物資の備蓄	5
(2) 県の防災備蓄物資の状況	5
5. その他	5
(1) 避難所閉鎖時の対応	5

(2) 要配慮者への配慮	5
(3) 収容人数等の周知	5
別添資料一覧	7

# 避難所における新型コロナウイルス感染症対策のポイント

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた住民への周知（別紙1）

- ・ 新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には危険な場所にいる人は避難をすることが原則であること
- ・ 避難所に避難するだけでなく、安全な親戚・知人宅へ避難することも考えてみる
- ・ 通常の非常用持ち出し物品等に加え、マスク、体温計、消毒液も持参すること
- ・ 避難前の健康状態等の確認を行うこと
- ・ 発熱、咳等のある者（以下「発熱者等」という）はかかりつけ医への事前電話後の受診、または健康相談コールセンター（健康相談コールセンターの連絡先は別表1参照）への電話相談を行うこと
- ・ 避難時にはマスク着用により避難すること

## 2. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設準備

### (1) 濃厚接触者への対応

- ・ 保健所に事前に確認を行い、提供を受ける個人情報の範囲及び時期を決定し、情報取扱いには注意すること  
なお、保健所への事前確認の方法等についても、保健所とあらかじめ相談の上、決定しておくこと
- ・ 濃厚接触者が避難する際に相談できる専用の相談窓口を設置すること

### (2) 健康な者の避難所滞在スペースレイアウトの検討（別紙2）

#### ① パーティションを利用する場合

- ・ 少なくとも座位で口元より高いパーティションが望ましい
- ・ 換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい
- ・ 埃等を吸い込むことや床に長期的に横たわっていることによる二次健康被害を予防するため、パーティションの利用にあわせて段ボールベッドの利用についても検討する

#### ② 上記以外に、テントを利用する場合やテープ等による区画表示を行う場合も考えられるので実情に応じて検討

#### ③ 区画等には番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する

#### ④ 避難所内の通路を一方通行にするなど、できる限り通行者がすれ違わないようにすること

### (3) 発熱者等の専用スペースの設置、レイアウトの検討（別紙3）

- ・ 発熱者等のために可能な限り個室を、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保
- ・ 頭の位置は通路から可能な限り離れた位置とする
- ・ 換気窓の位置を考慮した個室の配置とすること

#### (4) 避難所のレイアウト変更に伴う収容人数変更への対応

- ・ レイアウト変更に伴い、収容人数が大きく変更する場合には、集会所等の別施設を避難所として開設するなど、可能な限り多くの避難所の開設を図るとともに、ホテル、旅館等の使用のほか、他自治体への避難も検討
- ・ なお、近隣自治体に県有施設があれば対応を検討

#### (5) 避難受付のレイアウト・感染予防対策の検討（別紙４）

- ・ 避難所の開設と同時に避難者の健康状態を確認するため避難所入り口の外等に事前受付を設置
- ・ 受付時の三密を避けるために順番待ちのテープを貼る、時間差を設ける、順番が来るまで車中で待機してもらうなどの対策を行うこと
- ・ 体調不良の確認を徹底するために可能であれば全ての避難所に保健師等を配置
- ・ 通常避難所支援より多くの保健師等配置を要するため、事前に保健師等の人員体制を検討すること
- ・ 非接触型体温計による検温を基本とし、接触型体温計を使用する場合は、感染防止のために毎回消毒
- ・ 体調に異常がない避難者が、自らが移動できるよう、案内看板等を用意
- ・ 発熱者等を専用スペースへ誘導する際は、体調に異常のない避難者と動線を分けたルートを事前に検討
- ・ 発熱者等を専用スペースへ誘導するなどの対応方法を保健所に事前に確認し、必要な際に医師の診察が受けられるよう、協力体制を構築（保健所の連絡先は別表１－２参照）

#### (6) 運営スタッフの感染予防対策の検討

- ・ 保健所の協力を得ながら運営スタッフへ新型コロナウイルス感染症を含めた感染症に関する正しい知識を提供すること
- ・ 運営スタッフは交代要員も含めて、事前に各自健康チェック、検温を行い、発熱のある人は従事させないこと
- ・ 運営スタッフの各自健康チェックにはチェックリスト等を活用し、毎日時間を決めて行うこと
- ・ 検温するスタッフは、マスク、手袋を装着
- ・ 多数の人が触れる場所での作業時には手袋を着用し、作業後は手洗い、消毒を実施
- ・ 手袋は汚れたとき、破れたとき、一連の作業が終了したとき及び作業場所が変わるときに交換する

### 3. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の運営方法の検討

#### (1) 人権侵害の防止

- ・ 避難者のプライバシー保護を徹底すること
- ・ 個人情報に記載されたチェックリストの取扱いには注意すること
- ・ 不確かな情報の拡散は人権侵害につながることもあるため、正しい情報や最新の情報の提供に努めること

#### (2) 基本的な感染症対策の徹底

- ・ 受付時の案内やチラシや避難所内の看板等で手洗い消毒や咳エチケット、マスクの着用の励行及び人と人との距離の確保を呼びかけ
- ・ 必要以上に大声を出さないよう周知する
- ・ 30分に1回以上、数分間程度、定期的な換気を実施
- ・ 換気方法は季節毎に適切な方法とすること  
＜冬期における換気方法について＞
  - 暖房器具を使用しながら、気候上可能な限り、常時換気（難しい場合には30分に1回以上、数分間程度、窓を全開にすることによる換気）を行うことに努めること
  - 窓開け換気による室温変化を抑えるために、一方向の窓を少しだけ開けて常時換気に努めること
  - 人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れること（二段階換気）
  - 開けている窓の近くに暖房器具を設置すると、室温の低下を防ぐことができるが、燃えやすい物から距離をあけるなど、火災の予防に注意すること
- ・ 室温や保湿等に必要な設備や、毛布、防寒着等の防寒対策に係る備品等について、平時から確保に努めること
- ・ アルコール消毒液を各入り口やトイレ等に設置
- ・ 手洗い場にハンドソープ、ペーパータオルを設置
- ・ 避難所に設置するアルコール消毒液その他の備品については適切な管理を行うこと
- ・ 手すり、ドアノブ等のほか、共有部分に設置してある設備の人が接触する部分はこまめに消毒
- ・ 建物内の土足厳禁の徹底

#### (3) 避難者の健康管理、保健指導（別紙5）

##### ① 避難者への対応

- ・ 体温及び体調変化の把握は、方法と時間を決めて実施する
- ・ 体温や体調変化の把握はチェックリストを活用するとともに重症化リスクのある人を把握する

- ・ 熱中症リスクについても看板やチラシ等で周知（チラシについては別紙 6 参照）
- ・ 正しいマスクの着用や手洗いなどの感染防止のための保健指導を徹底
- ・ 避難者のために健康状態や避難所生活に関わる相談を受け付ける窓口を設置し、避難者の不安の解消に努める

#### ② 発熱者等への対応

- ・ 発熱者等や濃厚接触者などへの対応者をなるべく固定
- ・ 発熱者等が発生した場合の医療機関等への連絡体制を整備
- ・ 発熱者等が過ごす専用スペースや移動の動線、発熱者などの受診体制、連絡方法などについて、保健所にあらかじめ相談し体制を整える（保健所の連絡先は別表 1 - 2 参照）
- ・ 避難者等のかかりつけ医への受診は必ず事前電話をすることを周知
- ・ 基本的な感染症対策の徹底に加え、定期的な健康観察の実施
- ・ 濃厚接触者の健康観察は保健所が行うこと
- ・ 体調不良等を相談しやすい相談窓口を設置すること
- ・ 体調変化（悪化）を直ちに把握し、対応できる体制を整備する
- ・ 避難者等のかかりつけ医への受診は事前電話を行った後で行う

### (4) 生活ルールの徹底

#### ① ゴミの出し方の徹底

- ・ ゴミ箱に明記するなど、ゴミ捨て場を分別
- ・ ゴミ箱は足踏み式蓋つきを設置
- ・ 専用スペースでは個人単位ごとにゴミ袋を配布し、口を閉じて専用のゴミ箱に廃棄
- ・ ゴミを収集する職員は、マスク、手袋、フェイスシールド、長袖ガウン（レインコート等の代用も可）を着用し、作業後は手洗い、消毒を実施

#### ② トイレの確保と清掃の徹底

- ・ 発熱者等、濃厚接触者及び体調に異常がない避難者が使用するトイレは分けるとともにトイレまでの動線についても分ける
- ・ 便器の蓋を閉めてから水を流すよう周知する
- ・ 清掃担当者は可能な限り固定する
- ・ 清掃担当者は、マスク、手袋、フェイスシールド、長袖ガウン（レインコート等の代用も可）を着用し、清掃後は手洗い、消毒を実施

### (5) 食料、物資の配布方法の検討

#### ① 食事の提供場所や食事スペース

- ・ 配布する食事を置くテーブル等はアルコール等でこまめに拭く
- ・ 食事スペースは間隔をとり、座席を間引いて対面にならないように横並びで着席
- ・ 食事提供の際は手渡しをしない

- ・ 個別包装の物を準備
- ・ 一斉に取りにくるような状況を避けるため、数区画毎に取りにきてもらうなど、事前に配布方法をアナウンス
- ・ 配布時には間隔をあけて並び、会話を控えるよう注意喚起
- ・ 配布場所の入口には消毒液を設置し、手指消毒を徹底
- ・ テーブル等を清掃する担当者及び配布担当者は手袋、マスクを着用し感染防止策を徹底
- ・ 配布担当者は可能な限り固定する
- ・ 食事中の会話を控えるよう注意喚起

#### ② 物資の配布場所

- ・ 一斉に取りにくるような方法を避けるため、事前にアナウンス
- ・ 配布場所の入口には消毒液を設置し、手指消毒を徹底
- ・ 配布担当者は手袋、マスクを着用し感染防止策を徹底
- ・ 配布担当者は可能な限り固定する

## 4. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた防災物資の備蓄

### (1) 感染症対策で必要となる防災物資の備蓄

- ・ 必要となる防災物資の備蓄に取り組むこと（別紙7）  
例）非接触型体温計、段ボールベッド、間仕切り、マスク、消毒液、使い捨て手袋、エプロン、フェイスシールド、ゴミ袋等  
※段ボールベッド、間仕切りについては、島根県は西日本段ボール工業組合との間で災害時における調達等の協定を締結している
- ・ 段ボールベッドなど組み立てが必要になる防災物資については、組み立て方法を分かりやすく示したマニュアルの整備を行うこと

### (2) 県の防災備蓄物資の状況

- ・ 防災備蓄物資の物資名、数量等に関する問い合わせ先  
島根県防災部防災危機管理課      電話   0852-22-5885

## 5. その他

### (1) 避難所閉鎖時の対応

- ・ 消毒の対応について、施設管理者と協議をすること

### (2) 要配慮者への配慮

- ・ 新型コロナウイルス感染のリスクを踏まえ、要配慮者に対して十分な配慮を行うこと
- ・ 看板やチラシ等については「やさしい日本語」や外国語による多言語表記に努めること

### (3) 収容人数等の周知



- 収容人数に達した避難所はあらかじめ周知するなど、避難を分散化させるための周知を行うこと

## 別添資料一覧

別紙1：配布ちらし（例）

別紙2－1、2－2：健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

別紙3：発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

別紙4：新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（案）  
＜避難受付時＞

別紙5：新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（案）  
＜避難受付以降＞

別紙6：熱中症予防に関する配布ちらし（例）

別紙7：備蓄物資リスト【衛生環境対策】（例）

別紙8－1、8－2：濃厚接触者に関する対応について（例）

別表1：健康相談コールセンター連絡先

チェックリスト集：

- ・健康管理チェックリスト（入所時） ※避難者用
- ・健康管理チェックリスト（入所後） ※避難者用
- ・健康管理チェックリスト（避難所開設時） ※運営スタッフ用
- ・健康管理チェックリスト（避難所運営時） ※運営スタッフ用

※県の下記ホームページにデータを掲載しています。

[https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai\\_info/bousai/bousai/bosai\\_shiryo/hinan\\_nsho.html](https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/bosai_shiryo/hinan_nsho.html)